

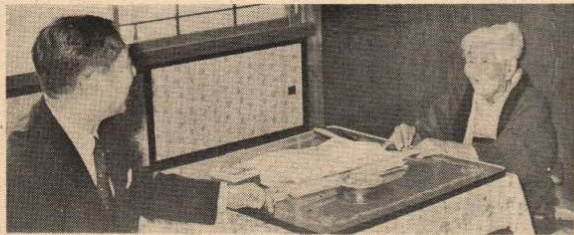
おとしよりをいたわろう

市長 最高令者の工藤さん(93才)を訪問

今年も「敬老の日」を中心に、市内各地で敬老会が行なわれ、今月の4日開かれる旧大館地区の敬老会で幕を閉じるようになりました。

本市には、70才以上のご老人は約3,200人、このうち90才以上の長寿者は17人おられます。17人のうち、男性がわずかに2人、残りの15人が女性ということで、やはり女の生命力の長さには男もかなわないといふところですね。

敬老の日、石川市長は市内で最高令者である川口部落



の工藤ナカさんを訪れました。工藤ナカさんは、明治10年12月26日生れで、今年で93才、耳はちょっと遠いが、目、口、足、腰はまだ大丈夫で、市長のお祝いのことばや質問にもハキハキ答えて、市長を玄関まで見送るほどの元気さでした。「100才までは大丈夫ももっともって長生きしてください」という市長のはげましのことばにナカさんは笑顔で答えるほどの余裕を見せてくれました。

ところで、このように笑顔で余生を送っているご老人もいる反面、ひとりさびしく余生を送っているご老人の方がふえています。この頃ですが、長い間にわたって、家のため、郷土のためにつづいてきたご老人にはあたたかき思いがわいてやがねばならないと思うし、敬老の日の時だけでなく、常日頃、老人に対する尊敬の念は忘れてはならないと思います。いずれだれでもが老人になるのです。

(写真)元氣いっぱいナカさん(右)

老人と家庭裁判所

家庭裁判所では、老人の生活に関し、生活費、身の廻りの世話、家族との不和などの問題を常に広い視野にたち、できる限り総合的に紛争を解決するように努めています。たとえば、老母と同居中の長男夫婦とのいざこごの申立てでも、医師や調査官の調査の結果、老母に軽微被害も予想の傾向があることや、長男夫婦にも老母に対する理解が乏しく互に誤解して、感情的になっていたことなどがわかると、おのおの適切な治療や指導をすることで、円満に解決しています。

長男夫婦が母親の医療費や生活費の一部を、他の兄弟に分担してもらいたいとすれば、そのような申立もできますし、また、経済状態によっては、福祉事務所などの機関に協力してもらったり、老母の症状によっては、治療、施設への入院を考慮したりすることもあります。

(秋田家裁大館支部)

空巣にご用心!

10月から11月にかけて、「空巣ねらい」と「忍び込み」が最も多く発生する時期です。

空巣は、るすにしている間に中へ入りこんで、現金や物を盗むドロボーで、忍び込みは、昼間のつかれでぐったり休んでいる夜間に入るドロボーです。

ドロボーが入らないようにするには、戸や窓の2重戸締り、家の中が見えないようにする。外出時にはとなりの人にする中のことをたのむなど、お互いに心がけましょう。

地震にそなえよう

最近、地震災害について関心がたかまってきておりますが、時期的にもこれから石油ストーブ等火気の取扱が多くなるので、いざという時のためにつぎのようなことを普段から心がけ、各家庭で避難、消火等、演習をしておきましょう。

- 1 ① まず避難先を家族で話し合っておく。
2 ② 万一の持ち出し品(貴重品・懐中電灯・水筒・トランジスタラジオ・木綿の風呂敷等)を整理しておく。
3 ③ 棚の上にシンナー等落下すると危険なものはおかない。
4 ④ プロパンガスのボンベや消火器などは倒れないように固定しておく。
5 ⑤ 石油ストーブ等の付近にふだんから燃えやすいものをおかない。石油ストーブ等すぐに消す。ガスの元栓などもすぐしめるなど火気に十分注意する

<お知らせ>

最近地震の防火対策の一つとして石油ストーブに自動消火の装置がついたものが売られております。

市民の皆さんのご要望やご意見を素直に市政に反映させ、皆んなの力で住みよい大館市をつくるために、今年も合併地区の皆さんを対象に「市長と語る会」を開きました。

8月5日、十二所地区を皮切りに開いたこの会には、のべ200人(うち女性28人)の市民の方々が出席し、道路整備、公害問題など207件にわたるご要望やご意見をいただきました。

なかでも、市道の舗装、側溝の整備、砂利の散布など建設課の所管に対する要望が一番多く、要望事項全体の48%となっています。

要望件数の多い順に示すと、つぎのようになりますが、地区によっていろいろな問題を含んでいるため、各地区ごとの主な要望事項も記してみました。

<要望等の件数>

- ①道路、側溝、橋など 99件
②減反、出かせぎ、農道の補修など 16件
③小中学校の統合、プールの建設など 15件
④入会権、市有地の払い下げなど 14件
⑤公民館の建設、体育指導員など 11件
⑥防火水槽、自動車ボンブ購入など 11件
⑦簡易水道、飲料水の検査など 9件
⑧家畜公害、地盤沈下、部落移転など 9件
⑨市の観光、釈迦池など 4件
⑩清掃車の駐車等について 3件
⑪レントゲン、血圧測定について 2件
⑫保育園、身体障害者について 2件
⑬その他、バス路線の新設、公園、広報など 12件

<各地区の主な要望事項>

①十二所地区
側溝の整備、ごみ捨て場の設置、市有地の払い下げ、簡易水道の設置、防火水槽の新設、街灯の設置、公民館の建設、自動連新機の設置、大滝に温泉センターを、林道へ砂利散布、減反に奨励金など17件。

②真中地区
南中プール父兄負担金、入会地の利用法、農道に取付口を、市道の拡布・新設・改修、街灯を蛍光灯に、側溝

オートバイの乗車には必ずヘルメットの着用を

現在、高速道路、自動車専用道路の運転時だけヘルメットの着用が義務付けられていたが、最近、自動二輪車による事故のうち頭部損傷による死亡・重傷事故が増加の傾向があるため、この種の交通事故防止対策の一環として、道路交通法施行令の一部が改正され、明年5月1日から最高速度40km以上の道路での自動二輪車の運転者は勿論、これに同乗する者もヘルメットの着用を義務付けられ、着用しなければ乗車できないことになりました。(大館署管内は全部の道路です)

大館署で発生した最近の事故として、8月24日、比内町独結地内で、運転者Sがヘルメットを着用しないで原付車を運転中、他車に接触転倒、路面に頭部を打ち、脳挫傷でいまだに意識不明で眠り続けている状態です。

今年の事故で頭部挫傷のものを拾ってみると

Table with 2 columns: Date and Location. Rows include 4月13日 水門町 自二, 7月27日 水門町 原付, etc.

これなどは、ヘルメットを正しく着用していれば、事故があっても物損事故だけで済んだものです。すべての二輪運転者や同乗者が規格になった品質・構造が確かなヘルメットを着用していたら、数多くの尊い人が救われるのですから、ヘルメットの着用を大館警察署では市民にすすめています。

の補修、嵩上げ工事、曲沢橋の着工、県道の舗装、貯水槽の設置など17件、

◎上川治地区

橋の架替え、上水道の設置側溝の補修・新設、防塵剤の散布、水原に水門を、プールの建設、バイパスの土地買収、坂道を舗装に、橋に歩道を、山館部落内の舗装、下水・排水処理、米代川北線の計画、簡易水道の設置など19件。

◎下川治地区

可搬式ポンプの配置、防火線の設置、餅田橋に歩道を、市道改修、簡易水道の設置、農道を市道に、入会地の利用、下川治駅の無人化、大入沢の除雪など24件。

◎長木地区

長木川の水質検査、プールの利用法、大館市の観光、郷土芸能の育成、東中への通学道路、市道の舗装、防火貯水槽の設置、黒沢橋の架替え、踏切の新設、農道を市道に、保育所と小学校に上水道を、大茂内部落の除雪など31件。

◎釈迦内地区

乱川の改修、釈迦池の老朽化・漁業権、小学校の木造改築を将来鉄筋に、松木踏切の立体交差、交差点に歩道橋を、高館橋に街灯を、防火貯水槽の処分、井戸掘りの補償費問題、上通地区の移転、中中の統合、打ち込み消火栓の設置、町内会館の補修・建設、釈迦内・花園の入会権豚舎の悪臭公害、地盤沈下の調査など40件。

◎二井田地区

ビート工場の敷地利用、展示圃の設置、農業倉庫前の舗装、側溝の新設、二井田小の老朽化と統合、二井田保育園に援助を、遊園地の設置、才川堤防に排水口を、出稼き者対策、旧二井田中の管理など20件。

◎花矢地区

部落公民館に補助を、地盤沈下対策、務沢橋市道補修、土目内・岩本路線にバス運行を、田の沢林道の補修、入会権について、花園中グラウンドの整備、市民の森について、学校の過疎化問題、花園小浄化槽の補修、心身障害児の施設の設置など33件。

市長と語る会 207件の要望を受理

下中の全国制覇、祝勝 茶話会開く

下中の女子バレーボール全国制覇を祝勝する茶話会が、9月16日、市の教育委員会主催で開かれました。

茶話会に招いた福島監督や選手たちはあの日の感激を新たに話したのか、最初はうつつきかげんであったものの、市長議長、東中学校長のお祝いのことばにつづいた体協会長の「皆さんがそろって桂高校に入り、桂高校を全国一にして欲しい」とのお話しになると選手たちもぼくぼく笑、この辺で選手たちもようやく気持ちをほぐした様子でした。

静かで、かわいい乙女たちのどこからあのファイトが生まれたのだろうと、来賓の方々には不思議がることしきり………とにかく、がんばった!ノカッ!



秋の大そうじ

10月13日〜22日